

きずな通信 No.35



2020年1月1日
発行 みやぎ地域づくり交流会
事務局 宮城公民館内

地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

第12回みやぎいいもん祭り盛大に開催

毎年恒例となりました第12回みやぎいいもん祭りを11月3日(日)に開催いたしました。
今年も芋をテーマにした「いいもんケーキ、いいもん汁、焼きイモ」の他に北爪農園直売所様のあんびんや小林豆腐店様などの地元食材をふんだんに使った数々の物産店や模擬店が並び、話題の遊具の「ふわふわぐんまちゃん」や「ころとん」が登場。そして地元出身の日本画家須藤和之氏による金箔を使った絵画体験教室が話題を呼び、沢山の子供連れの家族が参加し、楽しい催しとなりました。当日は、天候にも恵まれ、今年も沢山の来場者でにぎわいました。ご尽力頂いたボランティアをはじめ、関係者の皆様に感謝申し上げます。また来年度は来場者がさらに楽しめるよう体験コーナーやコラボ企画を検討していきたいと思っております。(大崎博之 記)



三夜沢あずき復活プロジェクト

昭和20年頃まで三夜沢町ではあずきが栽培されていた。三夜沢赤城神社へお参りに来る方々に、おしるこなどが振る舞われていたそうです。その三夜沢町で栽培されていたあずきは、皮が薄くて火が通りやすく、短い時間で調理することが出来たそうです。しかし今では三夜沢町であずきを栽培する農家はなく、三夜沢あずきの種も残っていませんでした。

そこで地域づくり交流会では、昨年度より、三夜沢町の畑をお

借りして、町内にお住まいの方々にご協力をいただき、三夜沢あずき復活プロジェクトを始めました。

昨年度は、播種の時期が早かったこと、虫にあずきを食べられてしまい、予想を大きく下回る収穫量となっていました。昨年度は、三夜沢あずきの栽培について、たくさん勉強させていただきました。今年度は昨年度の経験をもとに、三夜沢あずきの栽培を行い、昨年度を大きく上回る収穫量と

なりました。今年度収穫した三夜沢あずきは、交流会の活動だけでなく、三夜沢赤城神社へお返ししようと考え、1月15日の筒粥神事で使用していただけることになりました。



(前原清 記)



七子ファミリー きずな劇場 第24話

今年もみんなで初詣

みよちゃん あけおめ！

みんな！ あけましておめでとう！

お願い事があるからおさいせん、たくさんにもって来た！！

おさいせんはお願いがなかったお礼としてお供えするのよ

それから、今年の願い事がまたかなうように祈るんじやない？

ところで、はくんのお願い事ってなあに？

東京オリンピックに出場できますように！！

無理！

作：東原治由 画：横澤由文

三夜沢あずき使用

あんパン作り



公民館地域ふれあい講座が12月21日行われ、交流会で栽培した三夜沢あずきを使って、あんパンを作成しました。

当日は、小学生を含む14人が、食生活改善推進員の皆様と地域おこし協力隊の指導の下、たくさんのおいしいパンを焼きました。パン以外にも、シヨートパスタスープと宮城産野菜の胡麻あえも作成し、最後にみんなで美味しい昼食をとりました。

(上野 記)



美味しいパンが焼きました

荒砥川美化運動

10月13日、荒砥川美化運動を実施致しました。台風直後ということもあり心配でしたが川の増水もさほどなく、晴天に恵まれ気持ちよく作業することが出来ました。夏の暑さにより雑草も伸びほうだいで、背丈ほどに生い茂っていました。また台風の影響で、枯れ葉もかなり落ちていましたが、鼻毛石、柏倉町自治会員をはじめ、役員・一般のボランティアの方のお陰で、荒砥川の遊歩道はきれいになり、気持ち良く散歩出来るようになりました。

綺麗になった荒砥川を散策して、新しい発見をしてみたいかがでしょうか。

(沢沢 記)

